

日本伝統音楽研究センター 准教授・講師の公募について

- 1 採用予定職名 准教授又は講師（専任）
- 2 採用人数 1名
- 3 所属分野 日本伝統音楽研究センターに所属し日本音楽芸能論・民族音楽学を研究する（主として日本の民俗芸能、伝統的な舞踊、民謡などに焦点をあてた研究をおこなう者）
- 4 担当業務 日本伝統音楽研究センターの業務：プロジェクト研究または共同研究の主催・実施。
一般市民対象の各種講座（公開講座、連続講座、伝音セミナー）の企画・実施。
担当予定授業科目：音楽学部・美術学部授業科目（日本音楽史、民族音楽学、音楽学）大学院音楽研究科専門科目（原典研究、音楽学特殊研究、日本伝統音楽演習）
- 5 応募資格
 - （1）博士の学位およびそれに準ずる業績を有する者。
 - （2）国籍は問わないが、日本語で支障なく教育研究その他の職務を遂行できる者
 - （3）日本伝統音楽研究センターは、日本の伝統音楽・芸能について、それらを取り巻く文化的側面を視野に入れつつ、その音楽面を中心にすすめる研究・教育を続けています。また、2013年度より、大学院音楽研究科修士課程に「日本音楽研究専攻」を開設し、研究者やコーディネータなどの人材を育成する方向を打ち出し、日本の伝統音楽・芸能研究の国際的拠点となることも将来の目標として掲げています。
このような目標を推進していくために、たとえば以下のような諸テーマに関心をもたれる方の応募を期待します。
 - ・日本の伝統音楽・芸能とアジア諸地域との比較・対照
 - ・日本の伝統音楽・芸能の普及および海外発信
 - ・フィールドワークを中心とする研究方法の探求と実践
 - ・京都における日本の伝統音楽・芸能の伝承と創造
- 6 採用予定日 平成26年4月1日
- 7 提出資料

- (1)履歴書：5通（原本1通とコピー4通。写真貼付、電子メールアドレス記載のこと）
- (2)研究業績一覧表：5部（公刊された著書、論文、口頭発表、その他の順に区分のこと）
- (3)要業績3点以内：各5部（抜き刷り・コピー可）。ただし著書に関しては、原本を1部提出するだけでよい。
- (4)要業績3点の要旨：5部（それぞれの業績について400字程度の日本語でA4版1枚にまとめること）
- (5)現在までの研究・教育歴の概要：5部（日本語で1200字以内でA4版1枚にまとめること）
- (6)将来の研究と教育に関する展望と抱負の観点から、以下に示す4つのテーマから1つあるいは複数を選び、A4版1枚にまとめたもの：5部
- ・本センターに採用された際に企画・実施したい共同研究の計画（日本語、文字数自由）
 - ・本センターに採用された際に企画・実施したい公開講座の内容（日本語、文字数自由）
 - ・おこなってみたい授業の具体的内容（日本語、文字数自由）
 - ・海外向けプログラムあるいは日本音楽の海外発信授業についての計画（日本語、文字数自由）

- 8 書類提出先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学教務学生支援室 日本伝統音楽担当
（封筒の表に「日本伝統音楽研究センター教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留又は宅配便で送付のこと。）
- 9 書類提出期限 平成25年11月29日（金）必着。
提出書類は原則として返却しない。ただし、著書の原本については返却を希望する場合、送付先を明記の上、着払いの返信用封筒などを同封すること。
- 10 選考内容 （1）第一次審査：書類選考
（2）第二次審査：面接等。なお、面接に伴う旅費・滞在費は応募者の負担とする。また、審査の過程で追加書類の提出を求めることがある。
- 11 問合せ先 京都市立芸術大学 教務学生支援室 日本伝統音楽担当
TEL075-334-2222 FAX075-334-2345